

第一章 教育の主役は親・教師

次世代を担う子どもたちを責任もって育てるのは、誰なのか。愚かな問いかけです。それはもちろん、家庭で子どもを養育する親であり、また学校で子どもを訓育する教師です。この親、この教師が、頼るべき親、恃むべき教師としてその心に映らなければ、子どもたちのまっすぐな成長・発達は、到底、望むことはできません。

この第一章には、子どもが育つも育たぬも、また子どもが救われるのも救われぬのも、すべて親・教師にかかっているという、この当然の理^{ことわり}を知って頂くための文章を集めました。